

ボラ はあと

編集：能美市ボランティア連絡協議会

能美市ボランティア連絡協議会分野別研修会

会場：寺井地区公民館



1 分野（高齢者・障がい者支援）
開催日：令和2年10月4日(日)



2 分野（芸能・生涯学習関連・文化）
開催日：令和2年10月4日(日)



3 分野（環境・子育て支援・国際交流他）
開催日：令和2年10月25日(日)

～分野別研修会での発表～

- 1 分野・能美市作業所連合 一步
 - ・能美市赤十字奉仕団 チーム20
 - ・聴覚障がい者と共に歩む会
 - ・手話サークルめだか
- 2 分野・お笑い演芸会・舞踊集団 菊の会
- 3 分野・三道山子ども食堂
 - ・辰口中央小学校見守り隊

目次

2・3
ページ

- ・能美市ボランティア連絡協議会分野別研修会に参加して
 - 1 分野 ほがらか会 栗山 よしみ
 - 2 分野 おはなしの会トゥインクル 小西 彰子
 - 3 分野 エコトライ寺井 中川 美子
- ・分野別研修会 参加者の声
- ・コロナ禍の今だから想うこと
能美市ボランティア連絡協議会会長 田中 玉美

4
ページ

- ・ニューフェイスリレー紹介
- ・ボランティア活動紹介
- ・ボランティア掲示板
- ・きまっしボランティア
(編集後記)

あなたも活動をはじめてみませんか。いつでも **今** がはじまりです。

分野別研修会に参加して

1 分野（高齢者・障がい者支援）
10月4日(日) 参加者26名

◆ほがらか会◆ 栗山 よしみ

寺井地区公民館において開催された1分野の研修会に参加しました。

「能美市作業所連合 一步」、「能美市赤十字奉仕団チーム20」がコロナ禍での工夫や取り組みについて発表しました。「聴覚障がい者と共に歩む会」と「手話サークルめだか」には手話による簡単な挨拶を教えてもらいました。

集うことが難しい中で直接みんなの意見が聞け、アンケート結果にもある様に「コロナ禍だから活動をやめるのではなく、どうしたら活動ができるのかを前向きに考えている人が多く力強く感じた」研修会でした。コロナに負けずに活動を続けましょう！

意見交換では、ボランティアの意義や楽しさについて、改めて確認しました。



1 分野：「げんきかい」の西井さんによるアイスブレイクリラックスして研修会が始まりました



1 分野：「一步」の中嶋さんが、利用者の様子や施設の現状について話されました



2 分野（芸能・生涯学習関連・文化）
10月4日(日) 参加者30名

◆おはなしの会トゥインクル◆ 小西 彰子

2分野研修会は13グループ30名の参加がありました。

前半は各グループが自己紹介をし、日頃の活動を報告しました。今年はコロナのため十分に活動できず、皆さん残念な様子。その中でもこれまで通り活動しているグループや「今は練習を頑張っています」というグループもありました。

後半は「お笑い演芸会」と「舞踊集団 菊の会」の活動発表。お笑い演芸会は70歳を超えた方ばかり。パワーを感じます！菊の会は素晴らしい舞踊を披露して下さい、早くコロナが収まり活動できることを願わずにはいられませんでした。



2 分野：「舞踊集団 菊の会」の発表
素敵な時間が流れました



2 分野：「お笑い演芸会」の発表
活動について熱心に話されました



コロナに負けないボランティア活動の強さを皆さんから頂きました。



能美市ボランティア連絡協議会



3分野：親子の笑顔のために頑張っていきたいと話す
「三道山子ども食堂」の田中さん



3分野：成田さんから「辰口中央小学校見守り隊」の発表と
「バナナのたたき売り」の熱演

3分野（環境・子育て支援・国際交流他）
10月25日(日) 参加者35名

◆エコトライ・寺井◆ 中川 美子

協議会の中でも3分野は活動内容が多岐にわたっています。活動内容はそれぞれですが、コロナ禍にあっているいろいろな策をこらしながら活動をしているのはどのグループも同じようです。

たくさんのすごいしてくれた「三道山子ども食堂」、夢と希望をくれた「辰口中央小学校見守り隊」のマンボウこと成田吉雄さん。

お土産にも工夫が凝らされ、参加して良かった一と感じた90分でした。田中さん、成田さん、参加して下さった皆さんありがとうございました。



たくさんの
パワーと笑いが
会場に溢れ
ました。



分野別研修会 参加者の声

1分野

- ・コロナ禍での独自の取り組み・工夫が感じられた。
- ・どうしたら活動が出来るのかを前向きに考えている人が多く心強く感じた。
- ・普段会えないグループの方たちの思いや意見が聞けて良かった。
- ・他のグループの活動を知りたい。また他分野との交流で新しい活動を考えたい。
- ・ボランティアをしている人は若々しい。

2分野

- ・今年はコロナで大変だが、少しでも出来ることがあれば、頑張りたいと思う。
- ・コロナ禍で前向きに考えているボランティアグループが多く感動した。
- ・広い空間で安心して参加でき楽しい時間を過ごしました。
- ・もう少し若手の方が増えるとよい。
- ・自身の喜びや生きがいとなっている。

3分野

- ・年齢で出来ないを理由にしないと改めて実感させていただきました。
- ・子ども食堂が出来ることが素晴らしいと思った。何か出来ることがないか検討したい。
- ・笑いが人生を豊かにするということを実感しました。
- ・多種多様・多方面・他分野のボランティア活動にふれあうことが大切。

～コロナ禍の今だから思うこと～

能美市ボランティア連絡協議会

会長 田中 玉美



ボランティア協議会の会長を引き受けて2年目の年明け早々に、新型コロナウイルスの大流行が始まり、全てのイベントが次々と延期になっていきました。

この先どうしたらいいのだろうという不安の中で、こんな時だからこそ活動分野は何であれ、一人一人が自発的、主体的に様々なアイデアや解決策をもって取り組み、たとえ小さな事でも喜んでくれる人たちがそこにいるのなら活動を継続する意義があるのではないかと思うようになりました。

また、たくさんの経験を持っている多くの仲間と出会ったことも私の大きな財産になりました。これからも様々な場面、場所で協力してボランティア活動を続けていきたいと思っています。

ニュー

フェイスリレー紹介



◆青空自主保育 おひさまぼっこ

代表 橋場 規代



私たちの活動は自然の中でのびのびと、子どもたちだけでなく親も心が解放された時間を過ごすことを大切にしています。

自己選択すること、何でも「やってみたい」という挑戦する気持ちを大事にし、挑戦する姿をみんなで見守り安心して失敗できること、そこから考え学べる環境づくり、仲間との話し合いを大切にしています。また、無農薬での畑活動などを通して命を肌で感じると共にそれを頂くこと、自然を大事にしたい気持ちを育み、ゆっくりとした時間を過ごせることを大切にしています。

現在16組の親子が七っ滝、和田山、国造の畑、海での磯遊びなどの場所で活動しています。これからも楽しくワクワクしながらも、ホッと一息つけるそんな場所であればいいなと思っています。

ボランティア活動紹介

～使用済み切手等收集整理～

山ぼうしの会
代表 広岡 桂子

平成11年6月 山ぼうしの木が真白になった頃、旧辰口町の生涯学習活動からスタートしました。使用済み切手を収集し（年2回市内の依頼先の事業所へ回収に行きます）整理をした使用済み切手は下記の施設へ送っています。

- ① ジョイセフ(東京)・・・世界の発展途上国の母子保健の支援
- ② 誕生日ありがとう運動本部(神戸市)・・・障がい者福祉への理解と支援活動を実施

今年はコロナウイルスの広がりで活動の中止を考えましたが、先に回収した分が倉庫に山積みになっており月に1度2時間ほどの作業を実施しました。これまで280kgほど送付することができました。ありがとうございました。



きまっしボランティア

編集後記

コロナ禍で、分野別研修会が出来たことは大変良かったです。たくさんのグループがコロナ禍でも前向きにとらえての活動発表には感動しました。広い空間の中、安心して参加でき、楽しい時間を過ごし、お互いに自分たちの喜びや生きがいとなっている事も分かり、若手の方にバトンを繋げていけるよう、頑張っていきたいと思いました。

南野 一栄

ボランティア 掲示板

ボランティア活動保険・新型コロナウイルスの取扱いの改定について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ボランティア活動保険の特定感染症に指定感染症（新型コロナウイルス）が追加され、補償の対象となりました。ご加入いただくには、能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターへの登録が必要です。登録などの方法や詳細につきましては、能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターにお問い合わせください。